福島第一原子力発電所で働くみなさんへのお知らせ

月刊 いちえふ。

2016年 10月号

1 FOR ALL JAPAN　事務局

とぴっくす

10月は体力づくり強化月間！適度な運動を心掛けましょう

快適な生活に運動は欠かせません。ご友人やご家族と体力づくりを始めてはいかがでしょうか。

「いわきサンシャインマラソン2017」の申し込み受付中！

ご友人やご家族とふるってご参加ください！ ウェブサイトから申し込みができます。

http://www.iwaki-marathon.jp/

申込期間：2016年10月14日まで

開催日：2017年2月12日（日）

「1 FOR ALL JAPAN」が開設して1年！

いつも当サイトをご愛好いただき、誠にありがとうございます。みなさまのお役に立つサイトになれるようこれからも精進いたします。

いちえふのいま

労働環境の改善に向けたアンケートのご協力ありがとうございました

今年も1Fの労働環境を改善するためのアンケートを実施しました。11月までにアンケート結果を取りまとめ、結果をご報告いたします。

また、1～3号機の原子炉からの燃料取り出しに向けて作業が進んでおります。1号機においては、ガレキを取り除くため、壁パネルの取り外しが始まりました。2号機では、貫通部（X-6ペネ）周辺の線量を下げる方法と手順が決定しました。

労働環境の改善に向けた作業員アンケート

今年で7回目を実施しました。いただいたアンケートの結果をもとにしたさらなる労働環境の改善を検討。

雑固体廃棄物焼却設備の運転一時停止

1F構内の雑固体廃棄物焼却設備で、伸縮継手に小さな穴と割れが発見されたため一時運転を停止。建物は外気よりも低い気圧のため、外部への放射性物質の影響はなし。原因を調査して対策を検討。

1号機について

原子炉建屋の上に積もったガレキを取り除くため、9月から建屋カバーの壁パネルの取り外しを開始。最大で約20トンある18枚のパネルを、約3カ月かけて取り外し、その後は、防風シートを設置予定。

2号機について

原子炉格納容器の内部調査に向けて、貫通部（X-6ペネ）周辺の線量低減を検討。その結果、遠隔取り付け可能な新しい遮へい体（放射線を通さないパネル）を設置することで、追加の除染をする方法にくらべて、短時間で作業の終了が見込まれている。また、被ばく線量の低減にも期待。

1Fの安全統一ルール 22カ条【第7回】

昨年、過去の災害事例をもとに1F内で守るべき規定として、「1F 安全統一ルール22カ条」を作り、運用を始めました。このコーナーでは、2カ条ずつ内容を紹介しています。

●第13条「階段の昇降時は、手すり使用」

階段の昇降時には、転倒したりつまずいたりする可能性があります。階段を使う場合は必ず手すりの使用を徹底してください。

・下りは必須

・ステップ幅、段差は適切か

●第14条「突起物を扱う作業時は、必要な保護具を使用」

デッキプレートでは革手袋、鋭利な資材運搬時は前掛けなど、それぞれの作業で必要な保護具を使用してください。

※保護具の使用は主管グループなどの判断に従ってください

いこいの時間

〈絵合わせ〉

今月は絵合わせです。絵は裏磐梯の「五色沼」。6つの絵の中には同じ絵が2つだけあります。おわかりになりますか？

応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、新事務棟お客さま通用口にある応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間　10月11日～10月25日

＊応募用紙は応募箱横に設置しています。
＊当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
＊答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

今号のプレゼント

1F構内の食堂で使えるプリペイドカード1000円分（保証金500円分含む）です。500円分のお食事ができ、チャージ（入金）をすれば引き続きご使用いただくことができます。

ウェブサイトの紹介

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさまを応援していきます。

1FOR ALL JAPAN 廃炉のいま、あした

http://1f-all.jp/

月刊いちえふ。
2016年10月号

【発行日】2016年10月吉日
【発行】
1 FOR ALL JAPAN　事務局
（東京電力ホールディングス SC室）
【お問い合わせメールアドレス】
info@1f-all.jp

厳しい国際規格にのっとった放射能分析で社会に安心・安全を

東京パワーテクノロジー株式会社

（写真左から）
米川 智之さん
原子力事業部 福島原子力事業所 環境化学部
環境化学第二グループマネージャー

安松 拓洋さん
原子力事業部 福島原子力事業所 環境化学部
環境化学第三グループマネージャー

柏谷 利浩さん
原子力事業部 福島原子力事業所 環境化学部長

池田 幹彦さん
原子力事業部 福島原子力事業所 環境化学部
環境化学第二グループ 副長

1Fの廃炉作業を安全に進めるために欠かせないのが、化学物質や放射性物質の測定です。東京パワーテクノロジーの環境化学部では、日々正確なデータを公表するために化学分析や放射能測定をしています。今年6月、同社はISO/IEC 17025:2005という国際的な規格に適合した試験所として認められました。今回はこの規格と仕事内容について、環境化学部の方々にお話をうかがいました。

―― ISO/IEC 17025:2005はどういう規格ですか。

柏谷さん：国際的に権威のある機関が認めるもので、この規格の認定を受けた組織や試験所は、厳正な品質管理ができ、信頼できる試験結果を生み出す技術力があると国際的に認められます。

―― 大切な規格なんですね。

安松さん：当社では、以前から精度の高い測定が行われてきたと自負しています。しかし、震災後、放射能の値は世の中から注目され、測定結果はネットを通じて世界中に配信されるようになりました。そこで、この規格を取得することによって、私たちの分析が公正で正確であることを、第三者の目で判断してもらおうと考えたのです。

米川さん：ISO/IEC 17025:2005の規格に適合するには、外部からの圧力に対して測定結果を守らなくてはなりません。そこで、外部からデータの中身を変えられたり、のぞき見されたりしないように、独自のパスワードを設定し、強固なセキュリティーでデータ管理をしています。

分析データが世の中に役立っていると実感

―― 仕事のやりがいはどんな時に感じますか？

池田さん：1Fではメディアを通じて日々データが公開されています。ミスが一つも許されないという緊張感がある一方で、広く日本全体のために役に立っているんだなと思えるので、この仕事をやっていてよかったと感じます。

―― 廃炉作業に注目している福島や全国のみなさんへ、ひと言お願いします。

柏谷さん：当社では福島の1Fと2Fで512人が働いており、約9割が福島県在住者です。地元の方が中心となり、社会に貢献できるよう努力しています。分析の仕事は24時間体制でお盆も正月も休まずに頑張っています。そんな仕事をしている人もいるんだなと、頭の片隅に入れていただければ幸いです。

●続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL：http://1f-all.jp/interview/17/

みなさんのお勤め先

東京パワーテクノロジー株式会社

3社が統合して2013年に発足。発電に関連する設備の工事、運転、メンテナンス、化学分析などを主な業務として、震災後の1Fでは原子炉の安定化工事も行っている。

この1年間、インタビューに登場していただいた20人をご紹介します

「廃炉をやり遂げよう」とするみなさんの心意気を感じます

2015年11月号

浅村 忠文さん
鹿島建設株式会社 東京土木支店
福島第一凍土遮水壁 工事事務所 所長

温かくおいしいものを食べて英気を養っていただきたい

2016年1月号

渋谷 昌俊さん
福島復興給食センター株式会社 代表取締役社長

竹口 暁子さん
主任栄養士

1Fの仲間や地元の人たちとの出会いがマンガを描く力を与えてくれました

2016年3月号

竜田 一人さん
マンガ『いちえふ 福島第一原子力発電所労働記』作者

未然に事故を防ぐためにも職場のコミュニケーションは大切

2016年4月号

志賀 郁雄さん
東京パワーテクノロジー株式会社
福島原子力事業所 工事部 機械設備グループ 主任

サッカー選手も作業員の方々もおいしい料理を食べてほしい

2016年5月号

西 芳照さん
株式会社DREAM24 代表取締役
Jヴィレッジ ハーフタイムシェフ

学校で廃炉作業が取り上げられ父を誇りに思ってくれてうれしい

2016年6月号

関根 義昭さん
大成建設株式会社 東北支店
東電福一関連工事作業所 工事課長

なんとなく体調が悪いだけでも気軽に医療室に来てほしい

2016年8月号

山内 健嗣さん
救急医療室長 医学博士

1F構内にも普段の生活が戻ってきたと感じてもらいたい

2016年9月号

黒澤 政夫さん
ローソン東電福島大型休憩所店 店長 有限会社トータルフードサービス

畠山 由紀さん
副店長 有限会社トータルフードサービス

高い水準の知識と技術を次の世代に伝えていきたい

2015年12月号

大浦 仁さん
株式会社東京エネシス 原子力本部
福島総合支社 機械工事部 副長

現場の負担が少しでも減るようロボットの開発を進めています

2016年2月号

高取 洋介さん
日立GEニュークリア・エナジー株式会社 日立事業所
原子力設計部 予防保全機器設計グループ 技師

仕事は準備が大切段取りで8割決まると思います

2016年4月号

江頭 好博さん
株式会社東京鐵骨橋梁 営業本部
1F対策室 室長

みんなの協力で仕事がうまくいく大切なのはコミュニケーション

2016年5月号

門馬 浩章さん
株式会社アトックス 福島復興支社 設備工事部 設備運転課 課長

富澤 淳也さん
設備運転課 班長

1Fで働く作業員みんなでもらった感謝状です

2016年6月号

大隅 義敬さん
関門港湾建設株式会社 作業班長

橋本 敦さん
1F港湾内海底土被覆工事共同企業体
（五洋建設・東亜建設工業JV）現場代理人

気持ちよく仕事を進めるにはしっかり準備をすることが大切

2016年7月号

池永 信之さん
東芝プラントシステム株式会社
原子力フィールド試験技術部 試運転グループ 主任

大勢の作業員が一致団結して工事を工夫し、工期内にやり遂げた

2016年8月号

原 守哉さん
株式会社熊谷組 東北支店 福島原子力対策部
福島第一工事所 福島第一原子力作業所 副所長

全世界が注目しているので誇らしく感じながら仕事をしています

2016年9月号

小林 誠さん
有限会社飯島組 建設部長